

プログラムデザインコース

■ 「産業廃棄物施設を活かした環境教育」

研修実施者 [株式会社京都環境保全公社]

日時：2024年1月20日（土）10：00～16：15

会場：株式会社京都環境保全公社

定員：25名

講師：杉原道生氏（株式会社京都環境保全公社 環境技術部 環境管理室 室長）

中村千恵子氏（株式会社京都環境保全公社 環境技術部 環境管理室 主任）

宮川晃典氏（株式会社京都環境保全公社 環境技術部 環境管理室）

岡本弥彦氏（岡山理科大学教育推進機構教職支援センター教授）

集合時間：10：00（受付9：30～10：00）

集合場所：株式会社京都環境保全公社（京都府京都市伏見区横大路千両松町126）

アクセス：①無料送迎バス（京都駅 ⇄ 株式会社京都環境保全公社）（※所要時間約30分）

朝：JR京都駅前 9：15 出発予定 夕：株式会社京都環境保全公社 16：30 出発予定

②マイカー利用（駐車場事前連絡要）

プログラム（予定）

9:30	受付（9:30～10:00）
10:00	開講、環境省挨拶
10:10	オリエンテーション、講師紹介、参加者自己紹介
10:50	会社説明、施設案内（1時間30分）
12:20	昼食
13:20	環境教育の取り組み紹介（30分）
13:50	講義：学校とつながるためのワンポイントアドバイス（30分）
14:20	ワークショップ（60分）
15:20	ワークショップ 発表、講師からの総評（30分）
15:50	質疑応答（20分）
16:10	アンケートのご案内、事務連絡
16:15	終了・解散

※ 当日の天候等で、プログラムに変更が生じる場合があります。

※ 「学校とつながるためのワンポイントアドバイス」の講師は岡本弥彦先生です。

※ 研修終了後、簡単な事後アンケートにご協力ください。

プログラムデザインコース

■ 事業者情報（会社概要、活動概要など）

当社は、1974年に産業廃棄物の処理会社として京都経済界の共同出資で創立され、1984年に京都市伏見区、京丹波町（旧瑞穂町）で事業を開始し、以来39年にわたり産業廃棄物の適正処理と3Rを積極的に推進してまいりました。1999年にISO14001を取得し、「循環型社会の形成を通じて京都産業界の発展に寄与」を事業目的とし、資源循環の実現に取り組んでいます。

2020年度には、国連の持続可能な開発目標の実現に向け、「私たちは、環境保全事業を営む企業として、常に高い技術と知識を追求し、脱炭素社会および循環型社会の実現に寄与します。」を基本方針としたSDGs活動を本格的にスタートしました。

長期目標として2030年には、サーマルリサイクルを含めたリサイクル率95%以上を目指しています。2022年度には「新3号焼却炉」が竣工し、廃棄物発電による新エネルギー事業を開始しました。廃棄物エネルギーを最大限に利活用し、廃棄物から生み出した電気の工場内での活用や、隣接企業への熱供給実施を推進するなど、温室効果ガス削減の取組みも加速させています。また電力販売収入の一部を環境保全活動団体へ寄付し、“住み続けられるまちづくり”に貢献しています。

地域の環境保全活動を推進する人財の育成に向けた環境教育活動も積極的に展開しています。2017年度より京都商工会議所主催の小学校への環境学習事業へ参画し、主に4年生の子供たちを対象に環境教育を行っています。2023年度は9校へ訪問し、「ごみって何？ごみは何に生まれ変わる？」をテーマに、ごみと3Rについて学んでもらいました。授業後には子供たちから「分別することでリサイクルできることを知った」「リデュースを続けて、ごみを減らす取組みをしたい」等の前向きな声を聞くことができました。

■ URL HP : <https://www.kyoto-kankyo.net/>

Youtube: <https://www.youtube.com/@user-gh4iu1wg8h>

